

お題目の中に生かされている私！

近年、ペットショップやホームセンターではたくさんの生き物が販売されている。

この時季、子どもにも人気の生き物は、カブトムシやクワガタ。

山で捕まえて虫かごに入れ、スイカのへたを与えていた頃とは異なり、土や倒木や落ち葉、趣向をこらした工サ

など、なんでも販売

されている。捕ま

さておき、生態が

ではなく、何年も

いることは素晴らしい。



えてくるのか、買ってくるのかの是非は研究され、飼育を工夫することで、一夏何世代に亘つても飼育が可能になって



子どもの頃、一生懸命世話をしていたはずなのに、ある朝、動かなくなった虫かごの主を見つけ泣いたこともよくあった。掌にのせてみると、そのあまりの軽さに驚いたことは今でも覚えている。泣きながら庭に穴を

掘りそっと埋めたことも、そして、命を奪ってしまったんだという自責の念も。



種を蒔き草花を育てるのもいい、イヌやネコを飼うのもいい、虫や魚を飼うのもいい。小さな命とふれあうことで、生きていることの素晴らしさと、命のはかなさを知る。悲しくも命の最後に出会ったならば、同じ時間を過ごせた喜びに感謝し、心静かに掌を合わせよう。

世界にはたくさんの生命が生かされている。人も動物も魚も虫も花もみんな生きている。

それぞれの命が一生懸命生

助け合うことでこの世界は

世界だ。私たちは多くの生命に生

に感謝しなくてはならない。

を支えてくれている多くの生



きている。それぞれが関わり合い、

成り立っている。これが法華経の

かされていることを知り、そのこと

だからこそお題目をお唱えし、私たち

命に掌を合わせよう。

